



野木第二中学校は明るく、素直な生徒ばかりで、当たり前前のことを当たり前前できる学校です。まずは二中の誇る学校行事の紹介をします。



運動会は短い練習時間の中で集中して練習し、毎年感動ある行事となっております。大玉リレーや野木の渦潮などの全学年が一丸となって競う種目では学年を越えた絆が生まれます。

二中音楽会の合唱コンクールでは、クラスが一丸となってエニスホールに歌声を響かせます。各クラス、毎朝の練習や音楽の時間、昼休みなどに練習を重ね、最優秀賞であるハーモニー大賞を目指します。

輝光祭は学校テーマに沿って、各クラスが学級テーマを決め、学級展示をします。毎年、学級展示はクオリティがとても高く、どのクラスを見ても学校テーマを研究し、作られていることが分かります。この学級展示は、生徒、先生、保護者の方からの投票により輝光賞やささら賞が贈られます。また、空き缶数千個で作られるビッグアートも見所の一つです。生徒会の回収活動であるビッグアート缶回収によって集められた空き缶を使い、学校テーマに沿って係の生徒が

放課後の時間で制作します。輝光祭の終了後には花火も打ち上げられ、とてもきれいです。



次に生徒会活動を紹介いたします。二中の生徒会スローガンは「自ら動く」です。二中の全生徒がこの「自ら動く」を常に意識して生活しています。生徒会では回収活動に力を入れています。

SACと呼ばれる新聞アルミ缶回収では、回収によって得たお金を生徒会活動費の一部にしています。前述したビッグアート缶回収も、生徒会の回収活動の一つです。また、常任委員会ではプルタブ回収をして車いすの購入、ペットキャッ

プ回収を行い、ワクチンの購入に貢献しています。秋になると、各クラスで校庭に散った落ち葉を取る量を競う「落ち葉トル」を行い、楽しみながら校内美化に努める取り組みを行っています。

昨年年度には「表現力向上のためのワークシヨップ」を開催して、自己表現力向上のための方法を全校で学びました。学んだことを生かして、授業で生徒ひとりひとりが挙手発言や大きな返事を心がけて良い学習環境を目指しています。

このように、生徒会では学校のさらなる発展のための取り組みを行っています。

野木二中が全国に誇れるものの中で、欠かすことができないのが清掃です。

二中の清掃は「無言自問清掃」です。汚れている場所を自ら進んで清掃することはもちろん、他にやるべきことはないか自分自身に問い、無言で清掃します。それによって校舎内はきれいな状態を保っています。清掃終了後、廊下に整列して黙想します。今日の清掃はどうだったか、午前中の生

活はどうだったかなどを反省し、午後の活動に繋がります。



このように、野木二中にはたくさん魅力や良いところがあります。これらの良いところは今まで先輩方が築き上げてくださった伝統です。この伝統を守り、時と場に合わせた挨拶、返事、マナーやルールを守るといった当たり前前を当たり前前にできる「日本一の学校」を目指して、生徒全員がこれからも「自ら動く」を意識して学校を発展させていきたいと思えます。

野木町立野木第二中学校
生徒会長 松本 真夏